

# パートナーと 進める Dify活用

**RICOH**  
imagine. change.

株式会社リコー

登壇者： 萩原 智

所属： 株式会社リコー デジタル戦略部 プロセス・IT・データ統括  
ワークフロー革新センター プロセスDX開発室 CoE推進グループ

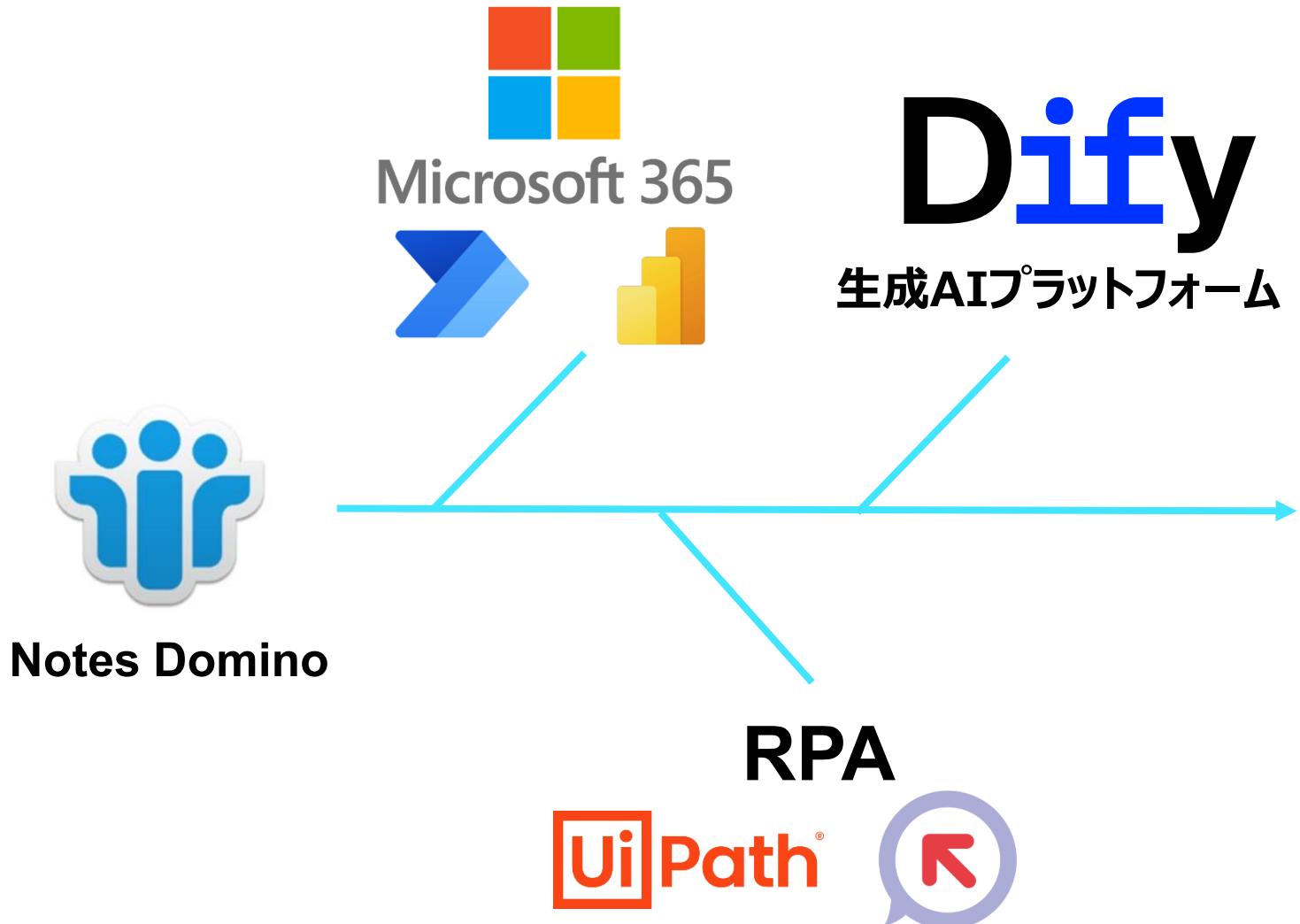
<2017年～2021年>  
AIを活用したシステム開発

- ・波形データによる異常検知ソリューション
- ・**自然言語処理AI技術を活用したソリューション**

<2022年～>  
社内の市民開発者（CD）によるデジタルツール活用推進・展開

- ・Microsoft 365（Power Platform）
- ・Axon Ivy（プロセスオートメーションツール）
- ・Dify





時代に最適な先端のツールを  
駆使して業務変革を推進

各種ツールの使いこなしで  
デジタルサービス企業を  
目指す

2024/04 2024/11 2025/02 2025/06 2025/08 2025/10

GGプロジェクト  
(業務可視化)  
開始

Dify  
Enterprise  
導入  
パートナー  
契約締結

CoE設立  
社内ポータル  
コミュニティ

「1人1個Dify」  
開始

全社展開  
開始

WS数  
**400 over**  
ユーザー数  
**2,000 over**

Dify  
Community  
ツール検証開始

Dify  
Enterprise  
構築完了  
**(AWS)**

先行ユーザー  
展開

V3.0系統  
大幅Update  
完了

ネットワーク移行  
リソースチューニング  
V3.5系統  
アップデート

2024/04

2024/12

2025/02

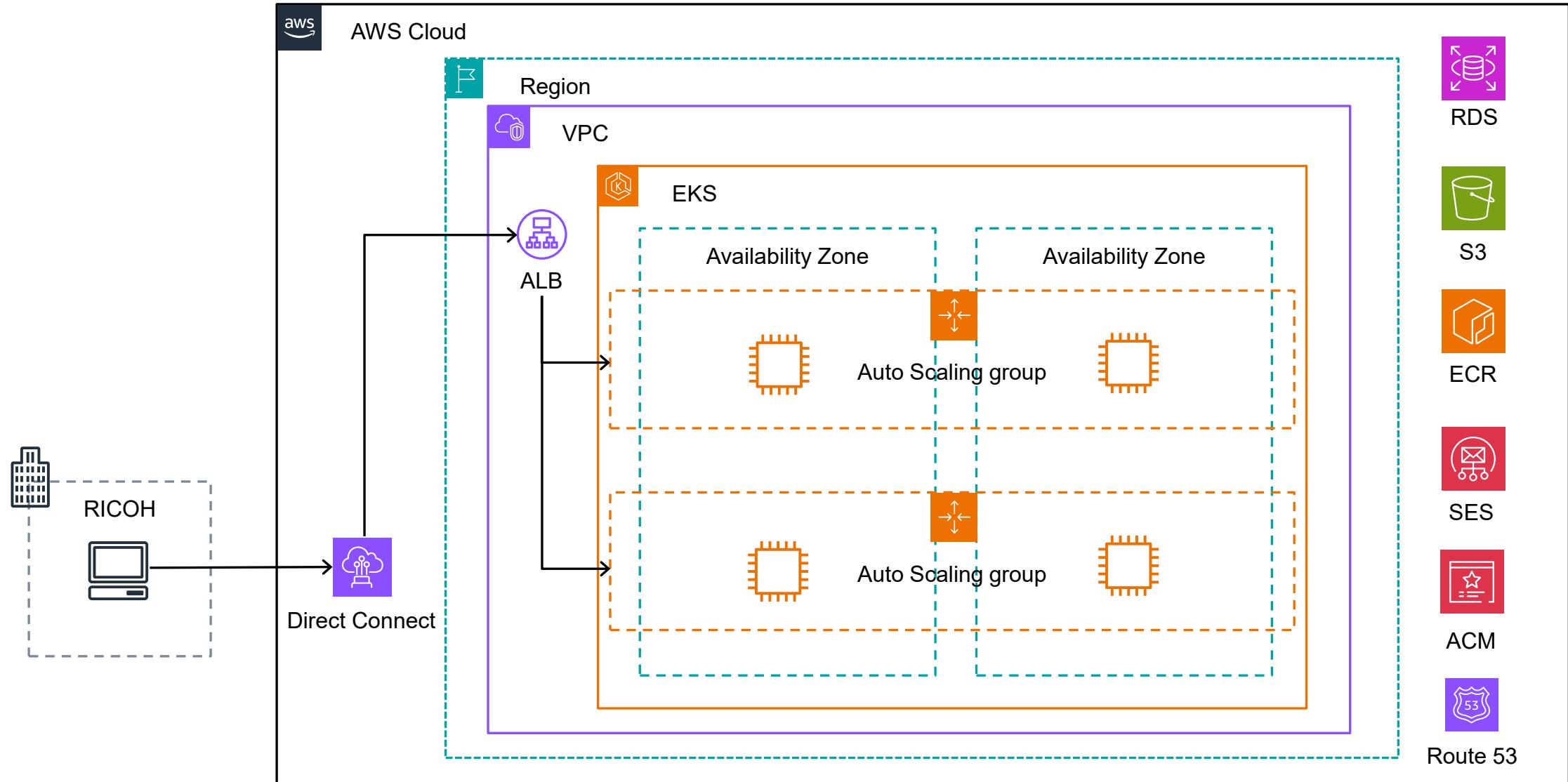
2025/07

2025/09

2024年

2025年

# Dify Enterprise システム構成 (AWS)



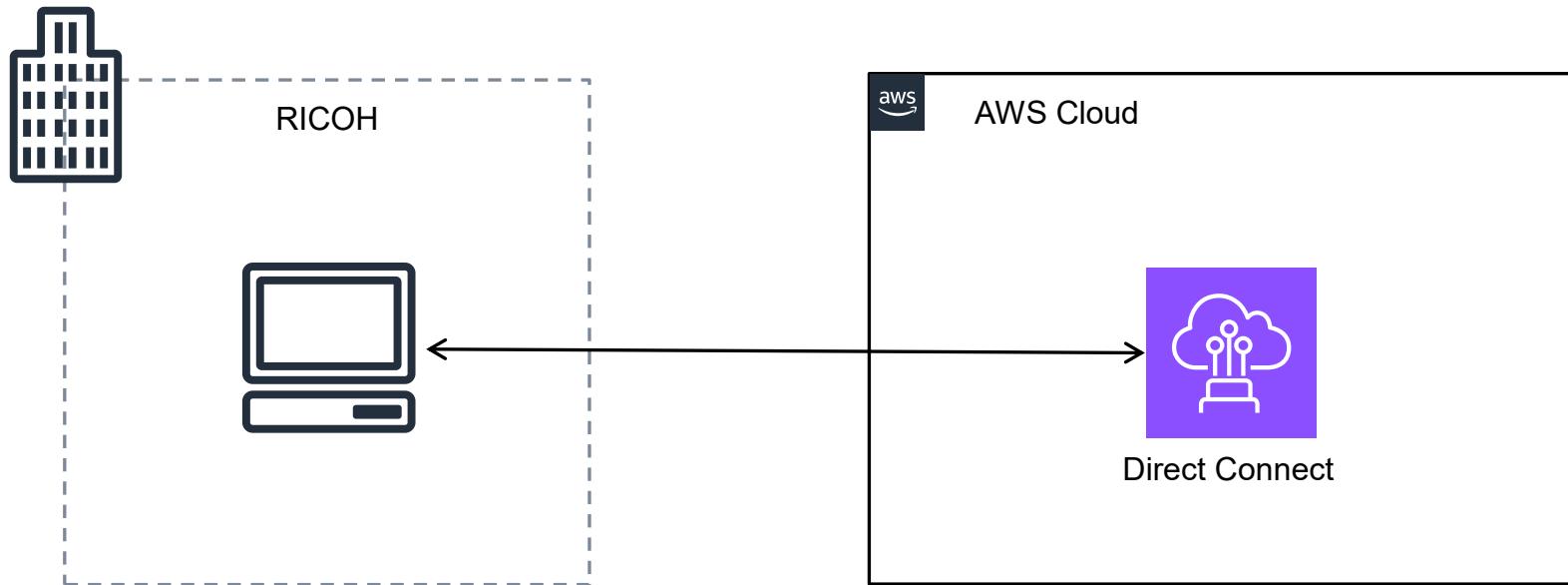
## AWS Native

- AWSのマネージドサービスをフルに活用し、効率性の向上、コストの削減、可用性の確保を目指す

サービス	
Amazon EKS	Kubernetes サービス - Dify Enterpriseの各サービスが実行される環境
Amazon RDS	リレーショナルデータベース - Dify Enterpriseのシステムデータベース
ALB (Elastic Load Balancer)	ロードバランサー - TLS終端、EKS内部でのPod入れ替え時等の影響緩和
Amazon S3	オブジェクトストレージサービス - システム内部ファイルやアップロードされたファイルの保存場
Amazon SES	E メールサービスプロバイダー - Dify Enterpriseのメンバー招待メール送信など

## AWS Direct Connect

- インターネットへの露出を最低限にし、社員が機微な情報を安心・安全に扱えるような構成
- 社内システムとの連携のハードルを下げる



Route 53

# Dify Enterpriseの活用度（10/31時点）

利用者  
(月間)

1,894 人

アプリ  
作成数

5,806 個

開発者

2,285 人

ワークフロー  
実行回数  
(月間)

73,116 回

WS数

469個

アップデート  
回数

7回

グループ  
企業利用

11社横断利用

トークン  
使用量  
(月間)

2,092,000,000

# ■ 市民開発におけるCoEの必要性

## CoEの役割と重要性

### - ナレッジの集約と共有:

組織内外の知識やベストプラクティスを集約し、全社的に共有する役割を担う。

これにより、各部門が独自に開発を進める際の重複や無駄を減らし、効率的な開発を可能にする。

### - ガバナンスの強化:

開発プロセスや標準を整備し、全体の品質と一貫性を保つ役割を担う。

市民開発では複数の部門やチームが関与するため、統一されたガバナンスが必要になる。

### - 技術支援とトレーニング:

技術的な支援やトレーニングを提供し、開発者のスキル向上をサポートする。

市民開発者が最新の技術やツールを効果的に活用できるようにする。

### - ベンダーとの連携:

ベンダーとの交渉や連携を一元化し、最適なソリューションの導入を推進する。

コスト削減や技術サポートの効率化が図れる。

### - プロジェクトの推進とモニタリング:

重要なプロジェクトの企画・推進を行い、その進捗をモニタリングする。

プロジェクトの成功率を高め、迅速な意思決定が可能になる。



やる場  
(活動できる)



やる気  
(活動がわかる)



やる腕  
(スキル向上)

## Dify Enterprise機能の使い倒し

- 会社の認証基盤と連携
- ワークスペース
  - 業務目的ごとに分離
    - 部署単位にすると組織変更したときに追従する工数が膨大になる
  - 開発するためのモデルプロバイダー設定
    - RAGアプリケーション開発が最低限できる
- ガバナンス
  - プラグインのインストール設定
    - 公式のみ、マーケットプレイスインストールに制限
  - 認証管理機能
    - CoEが管理しているLLMをまずは利用してもらう



ワークスペース	
すべてのワークスペースを管理します。	
ワークスペースIDで	P001
ID	名前
2afbc918-31c7-408d-8603-c093d5b4820f	P0016_XXXX業務効率化
685483ad-9ede-4515-8a3b-bf771c706eb0	P0018_YYYYYY



## 最新機能の使いこなし

- Dify Community
  - 最新機能の確認・調査（CoE）
    - Enterpriseに反映されたときのガバナンス・ルールの検討
    - アーリーアダプタ向け（市民開発者）
      - 感度が高いユーザのみ利用
      - ただし、安定的な業務利用にはDify Enterprise環境を推奨



⇒ 市民開発者が“安心してアクセルを踏める”環境（Enterprise）を整備しつつ、  
**自律的な活動を厳しくしすぎない**、オープンな形で推進・展開

## 社内ポータル（Dify社内実践環境運用サイト）

- Difyの基本知識
- Dify Enterprise利用時の注意事項
- Dify Enterprise利用申請方法

The screenshot shows the homepage of the Dify intranet. At the top, there's a banner with question marks and the text "What's Dify (ディフィ) ?". Below it are three cards: "Dify Enterprise", "Dify社内実践環境利用申請", and "活用事例". The main content area has a large heading "What's Dify (ディフィ) ?" with a "Dify (ディフィ)" button. Below this are sections for "Dify社内実践環境" (with sub-links for Dify Enterprise, Workspace, Member, Application, Knowledge, Model Provider, Plugin, Tool, and FAQ) and "Dify社内実践環境利用申請" (with sub-links for 利用申請方法).

## コミュニティ（Difyコミュニティラウンジチャネル）

- CoEから利用ユーザへのアナウンス
- 利用ユーザ間のコミュニケーション

The screenshot shows two posts in the Dify Community Lounge channel. The first post, by Hagiwara Satoshi (萩原 智) on 10/07 17:02, announces a "Dify Enterprise バージョンアップ" (Version Update) on 10/14 from 17:00 to 20:00. It includes a note about temporary downtime for maintenance. The second post, by Ricoh Taro (リコー 太郎) on 10/14 13:26, asks if multiple users can manage notes. It receives a reply from Ricoh Hanako (リコー 花子) on 10/22 17:38, stating that while notes can't be managed by multiple users, documents can be viewed.

# ■事例発表大会、1人1個Dify（やる気）

**RICOH**  
imagine. change.

## 事例発表大会

- 市民開発者が作成したアプリケーション・事例を共有
- オンライン会議で実施し、約1000人が参加

The screenshot shows a Dify platform interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'Home', 'What's Dify?', 'Dify社内実践環境', 'Dify社内実践環境利用申請', '編集', 'パブリックグループ', and 'フォロー中'. Below the navigation, there's a toolbar with icons for '新規', 'レベル上げ', 'ページの詳細', 'プレビュー', 'マッシュプ リーダー', and '分析'. The main content area displays a presentation slide titled 'FY25 Difyでできた！みんなのワクワク事例発表大会'. The slide features a blue background with a person in a suit, and text in Japanese. Below the slide, there's a summary of the event: '生成AI Difyでできた！みんなのワクワク事例 発表大会 Dify' held on '2025/8/1 金 14:00～16:00' at '会場名: A3-3会議室'. The summary also mentions 'ワークフロー革新センター主催 の生成AI事例イベント' and provides details about AI's role in process redesign. At the bottom, there's a section for 'アカライブ動画' and a note about '投票者アンケートご協力ください'.

①事例発表  
②特別講演（技術倫理）  
③フリートーク

1:31:49 19:46 17:01

## 1人1個Dify

- 個人や顧客課題問わず、身近な事例から生成AIを使って課題解決を実施する

### Wave01（約300人参加）



経営企画室メンバー



AIアンバサダー  
(各部門から選出)

### Wave02（約700人参加）



Dify活用支援

デジタルサービスBU  
メンバー



AIアンバサダー  
(各部門から選出)

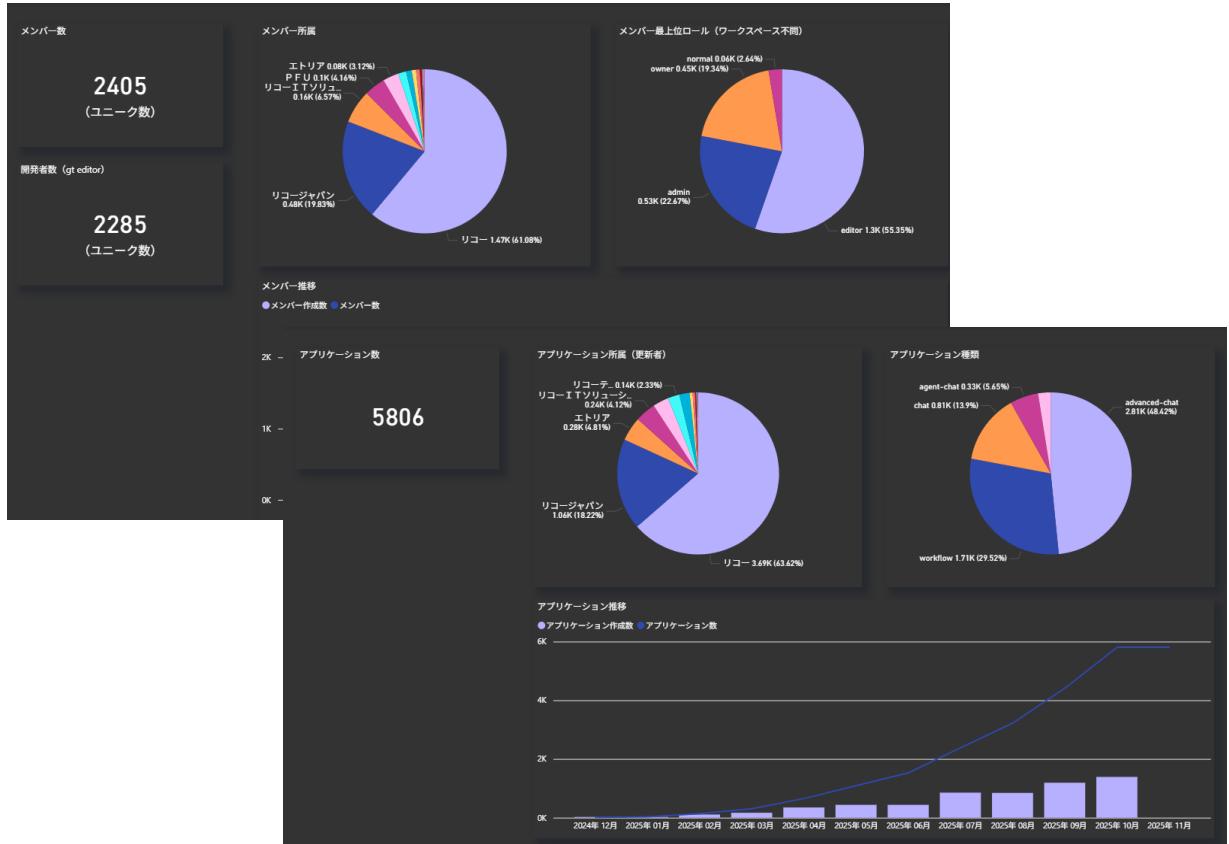
## 利用状況の見える化

- Difyのデータベースを基に利用状況の見える化

- メンバー数
- アプリケーション数
- etc..

- 会社の組織情報とのマージ

- どの部門がよく利用しているか
- 自部門と似た業務をしている部門では  
どのようなアプリケーションを作成しているの  
か
- etc...



## 認定制度

- プロセスDX人材
  - リコーでは、全社員が業務に対してプロセスDXを推進できる姿を目指す
    - 市民開発者だけでなく、ビジネスアナリストも含めたコンテンツ
  - ツールごとにスキル設計したステージ制
  - 市民開発者のスキルの一つとしてDifyを追加予定 (FY26)

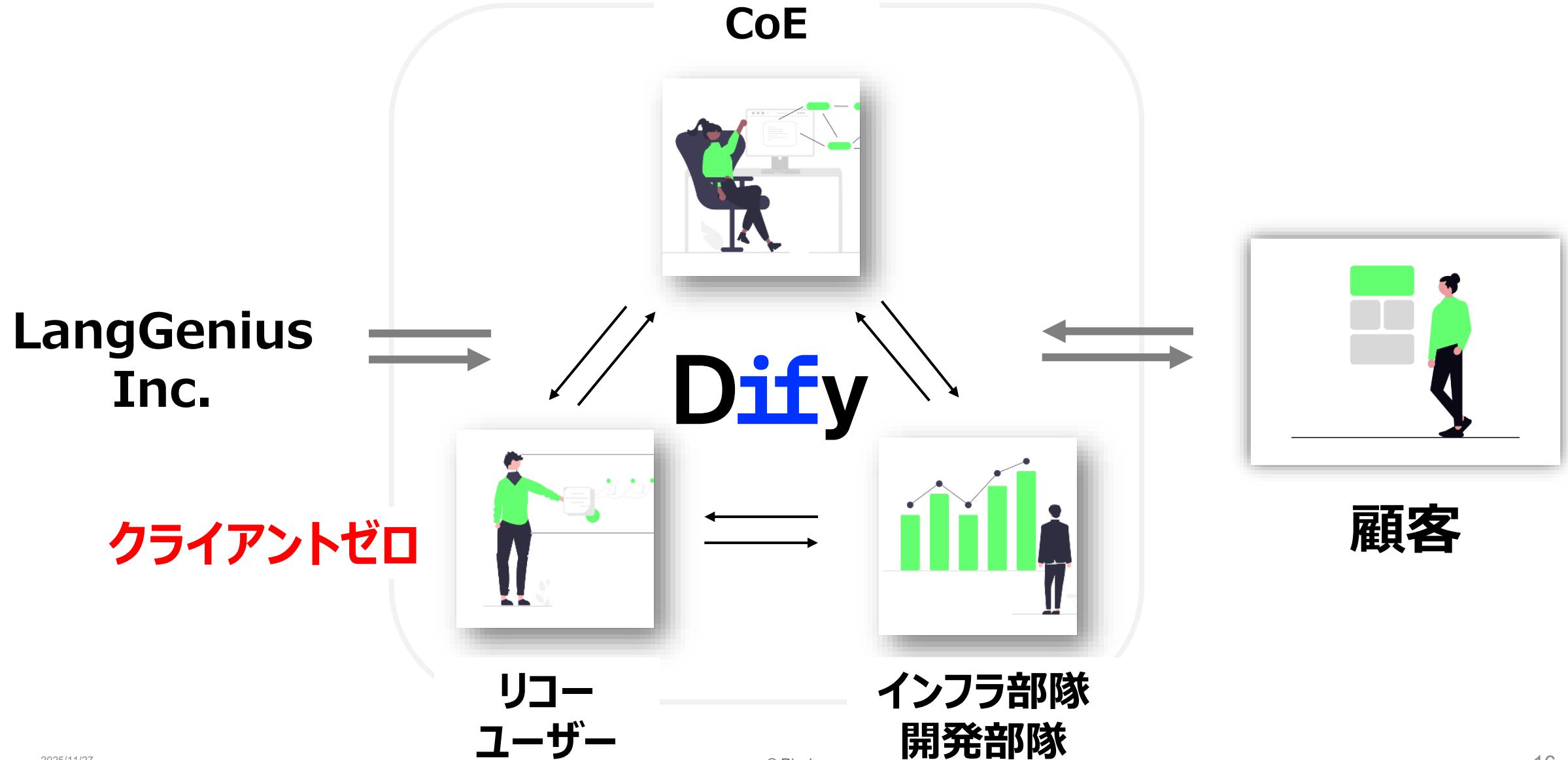


### シチズンデベロッパー (CD)



New

# Difyによって広がるAI活用の社内外のエコシステム



## Difyパートナーとしての 提供メニュー

ライセンス提供

構築サービス

技術伴走支援

利用教育支援

+

## 社内実践で得られた知見

社内展開施策

展開加速の為の仕掛け

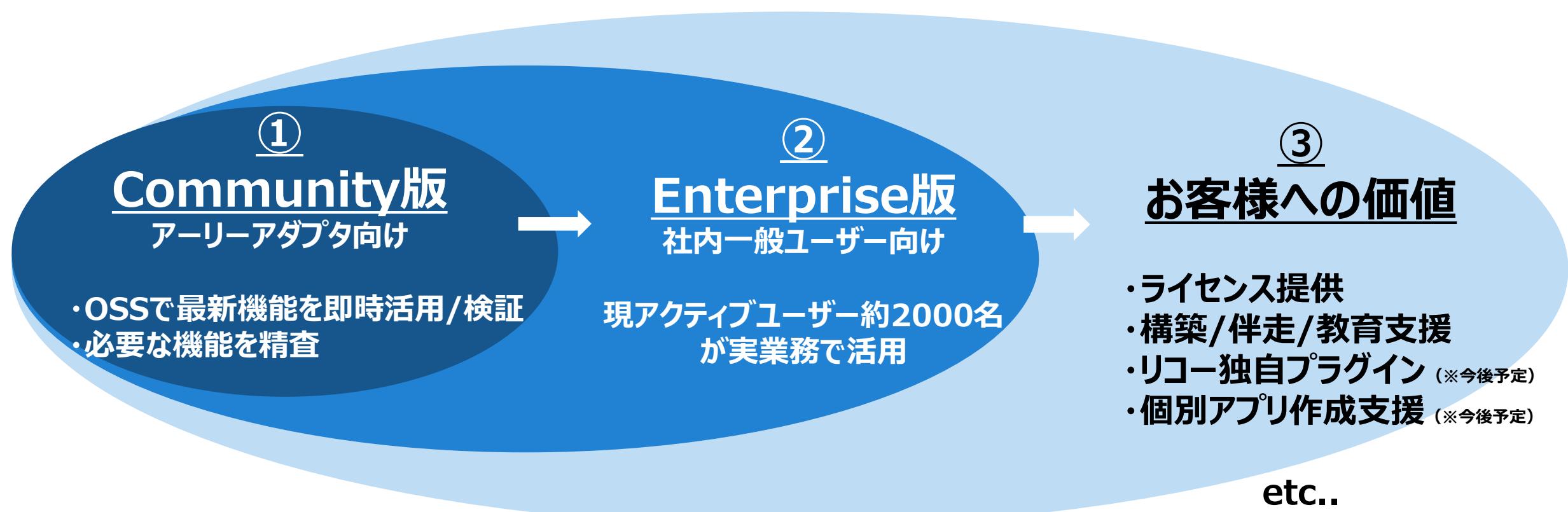
ガバナンス施策

インフラ最適化

直面した課題

# ■ 他パートナーと比較した、リコーの強み

社内Dify推進部門のガバナンス環境下で、Community版を活用した最新機能の検証を実施し、それらを社内一般ユーザー向けにEnterprise環境で展開・利用できるスキームを用意しており、適宜アップデートされる一連のノウハウ（構築、社内推進/展開、etc・・）をもとにサービス提供いたします



## ■ Difyパートナーとしてリコーが目指すところ

- ✓ リコーグループ全社員がAIを使い倒す未来を目指す。
- ✓ 自分たちで使い倒す中で、得られた知見に留まらず、つまづいた課題を顧客に共有する。
- ✓ 実体験に基づいたAI促進・DX活用を顧客に提供していく。